Nishitokyo City
西東京市 議会だより

第44号
平成22年11月15日
（2010年）

〒188-8666 西東京市南町5-6-13　042-464-1311　編集／議会報編集委員会　発行／西東京市議会



「もみじ」
東京大学大学院附属演習林田無試験地のみごとな紅葉です。
秋のひととき、市内の紅葉スポットをめぐってみるのもステキです。

平成22年
第3回 定例会

主な議案等

平成22年度一般会計・特別会計補正予算を可決

一般会計の歳入歳出について、それぞれ17億7,756万1千円を追加するとともに、8つの特別会計についても歳入歳出ともに増額補正しました。

【可決】⇒ 詳しくは6～7面「決算・補正予算の審査結果です」をご覧ください。

平成21年度一般会計・特別会計決算を認定

5日間にわたる決算特別委員会の審査で、認定されました。

【認定】⇒ 詳しくは6～7面「決算・補正予算の審査結果です」をご覧ください。

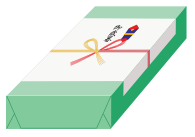
○第3回定例会 会期…9月3日（金）～10月5日（火）33日間

	審議件数	可決・採択	否決・不採択	継続	取り下げ
議案	21	21			
条例	1	1			
予算	9	9			
決算（21年度）	9	9			
その他	2	2			
議員提出議案	8	7	1		
請願	2	2			
陳情	28	3	10	14	1

※「可決・採択」には、認定、趣旨採択を含んでいます。

禁止されています
議員の寄附行為や時候のあいさつ状

議員は、選挙区内の方に対する次の行為が禁止されています。
◇お金や物の贈答
◇年賀状等の時候の挨拶状の送付
（答礼のための自筆によるものは除く）
◇地域のお祭り・会合等への差し入れ、お祝金、賛助金を出すこと





市民の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

紙面の紹介（今号のもくじ）

○一般質問の要旨 …… 2～6面
○用語の解説、決算・補正予算の審査結果です …… 6～7面
○委員会の審査から、委員会視察レポート …… 7面
○議決結果一覧、請願・陳情の結果、意見書、会議の開催状況、編集後記 …… 8面

「声の市議会だより」をお届けしています。
（録音テープ）
お知り合いの方でご希望の方がいらっしゃいましたら
中央図書館（☎042-465-0823）へお問い合わせください。

一般質問（1）

一般質問の要旨

第3回定例会で、28人の議員が行った一般質問の主な内容です。各議員が執筆し、その責任のもとに掲載しています。

※詳細は、11月中旬に発行予定の会議録をご覧ください（市内各図書館・両庁舎情報公開コーナー、議会事務局にあります）。

※ホームページでも11月下旬からご覧になれます。

凡例
- 西東京自由民主党　（自民）
- 西東京市議会公明党　（公明）
- 民主党・社民クラブ　（民主・社）
- 日本共産党西東京市議団　（共産）
- 生活者ネットワーク　（生ネ）
- 無所属　（無所属）

地デジ対策、介護保険 中学校給食の準備状況等を問う

相馬　和弘（民主・社）

質問 第3次行革の柱に公共施設の適正配置と有効活用があるが、検討の進捗状況と課題はどうか。

市長 管理コスト、耐震化対応といった課題を含め、年度末には基本方針を策定する予定である。

質問 地デジ完全移行まで1年を切っているが、全国で約2割の世帯が未対応と言われる。西東京市内で地デジ難民を出さないために市の対応を問う。

市長 これまでも情報提供、個別の市民相談を行ってきたが、今後もさまざまな場で受信相談を行っていく。

質問 介護保険制度がスタートして10年が経過した。介護認定者数、介護保険総費用も、この10年で2倍になったと言われている。市の現状での課題・問題をどう認識しているか。

市長 他市と同様、要介護者の増加が著しい。介護保険料の負担のバランスが大きな課題の一つであるが、今後、国の動向を注視しながら充実を図りたい。

質問 来年度、中学校給食が3校でスタートし、平成24年度で6校が実施となる。準備に問題はないか。

教育長 進捗状況は順調であるが、建築確認事務における東京都との調整、実施時期、給食費の額など審議会で現在協議している。


実施中の小学校給食

障害者の緊急一時対応宿泊設備 福祉作業所の新設、増設を要望

森　信一（民主・社）

質問 来年春にオープンを予定している（仮称）障害者福祉総合センター内に、緊急一時対応の宿泊設備を備えることはできないか。

市長 夜間、主に知的障害者の方を対象として、保護者の方が入院等をされた場合の緊急対応の活用を考えているところである。

質問 市内の福祉作業所が既に定員に達している状況において、作業所を計画的に新設、または増設する必要があると思うが市長の考えを問う。

市長 障害者が年々増加する傾向であることは認識している。小規模作業所等の新体系事業移行がスムーズにできるよう支援を行っていきたい。

質問 介護予防事業の一つに、老人福祉センターで行われている「はつらつサロン」があるが、利用期間の考え方について問う。

部長 原則6カ月の利用期間の満了時には面談を行い、ご本人の状況やご希望を考慮した上で、継続についての評価をしている。今後とも、きめ細かに対応したいと考えている。

意見 児童館東伏見分室閉館後、10月から東伏見小での出前児童館が火・水・木の週3日間となったが、低学年の児童が早く帰る月・水・金とすべきではないか。

新規認可保育園が開設予定!! 胃がんハイリスク検診の実施を!

桐山　ひとみ（民主・社）

質問 本年4月の保育園の待機児数は179名と昨年に比べ45名の増加となっている。6月定例会で明らかになった認可保育園希望事業者からの相談について、開設の状況はどうか。

答弁 私立認可保育園3園と分園1園が新たに開設される予定である。具体的には平成23年4月に向台町5丁目と田無町2丁目に私立保育園の開設、さらに向台町2丁目に私立保育園の分園、平成23年秋ごろに田無町4丁目に私立保育園が開設される予定である。

質問 開設予定の私立認可保育園3園の保育内容はどうか。

答弁 谷戸町3丁目、向台町3丁目の2カ所を選定し、東京都に申請中である。

質問 待機児数のうち、0歳から2歳児までは169名で待機児の94％を占める。新規保育園を開設し、待機児の解消につながるのか。

答弁 新規開設により、待機児解消に大きな役割を果たすと思うが、現在の厳しい経済状況が続くとさらに保育需要が見込まれる。

質問 胃がん検診における*ピロリ菌と*ペプシノゲンによる胃がんハイリスク検診について、足立区と目黒区が実施している。血液検査だというが認識はどうか。

答弁 医師会の要望も強い。今後注目し検討したい。

保育所の待機児対策は 適正配置を踏まえ進めるべきだ

二木　孝之（民主・社）

質問 西東京市にとって新しい展開となる私立認可保育園3園と、認可園の分園1カ所の開設は、認証保育所の向台町への開設予定を加え、結果的に田無駅と向台町を中心とした地域に集中することが明らかになった。待機児対策への対応を適正配置として、手法としてどのように進めていく方針なのか。また、認可外保育所保護者助成金のさらなる拡充を求める。

市長 今後も待機児の状況を踏まえ、認可保育園、認証保育所などによるさまざまな検討を行う。再三お尋ねがあった認可外保育所保護者助成金については、月額5千700円を8千円に増額したが、引き続き検討する。

部長 待機児状況は、田無駅周辺、特に南部地域が顕著であることと大型マンションの進出を踏まえ計画を進めた。ひばりヶ丘駅南口地区についても谷戸町へ認証保育所を開設する。

質問 田柄川など、ふたかけがされている水路を「やすらぎのこみち」や「ふれあいのこみち」のように安全な歩道通路の確保として計画的に整備しないか。

市長 豪雨時に水路の能力を超えた雨水の氾濫などの解消を図りつつ、溢水対策の進捗状況を見ながら、調査研究していきたい。

変わり行く環境（気候・地域開発）への対応を進める

望月　伸光（民主・社）

質問 今年は、例年にない猛暑の夏となり、熱中症で病院に運ばれる人々が例年の4倍以上、死者数も8倍以上となっている。この状況の中、西東京市の熱中症予防の取り組みはどうか。

答弁 東京消防庁が作成したポスター、小平保健所が作成したリーフレット、市が作成した注意喚起文書等を、庁内メールにより関係部署に送信し、掲示や配布等の活用をするように指示した。また、高齢者への熱中症対策として、地域包括支援センター、民生委員、ケアマネジャー、訪問介護事業所など関係機関に協力を呼びかけ、一人暮らしの高齢者や高齢世帯、高齢者アパート等を中心にチラシ等を配りながら訪問し、状況把握と熱中症対策の注意喚起を行った。

提案 大阪府吹田市では、消防署が熱中症対策として会議室を避難場所に開放している。西東京市でも公共施設等を利用して検討をしてはどうか。

◇向台、新町地域の開発について（病院施設、老健施設、大型マンション、デイタセンター等）

◇向台、新町地域の交通環境について（人口増、車両台数の増加）

◇街路樹等整備について（剪定の基準等）

高齢者も子育て世代も安心して 住み続けられるまちづくりを!

山崎　英昭（民主・社）



質問 高齢者の所在確認の現状と対応はどうか。

答弁 8月1日現在、100歳以上の高齢者は65名おり、全員の所在を確認した。

質問 100歳以下の高齢者も同様の問題、課題が存在すると思うがどうか。

答弁 3年に1度、75歳以上の生活状況調査を市として行っている。所在が確認できない方々が350名ほどおり、再度実態調査をする。

質問 庁内外の連携を進める上で、個人情報の壁が大きく立ちはだかっている。これまでの個人情報保護のあり方、庁内連携のあり方を抜本的に見直す必要があり、早急な対応を求める。

答弁 慎重かつ迅速に検討していきたい。

質問 児童虐待による死亡事件増加で、行政の職権による立ち入りを求める声が強くなる一方、家庭のしつけや親子の間にどこから立ち入ればよいのか大変難しい問題であり、行政と地域の連携、情報の取り扱いが大変重要だ。西東京市の現状と対応はどうか。

答弁 相談件数も増加しており、連携の強化に努める。

質問 物流サービスは市民生活を支える重要な役割を担っている。荷さばき所の確保に努めるべきだ。

答弁 今後の研究課題としていきたい。

一般質問（2）

今後の特別支援教育 エコと環境教育

小峰　和美（無所属）

質問　特別な教育的支援を必要としている児童・生徒一人一人のニーズに応じた指導を進めていくためには発達障害への理解を深めるとともに、適切な指導・支援を行う教員の知識・技能を高めることが重要である。さまざまな障害種別に応じた指導方法や支援内容、教育相談等、多岐にわたる研修の充実を図るべきだ。

答弁　教員が実践的な指導力を身につけるよう、医師や心理の専門家等を講師として活用するなど、専門性の向上を図るとともに日常的な研修も充実していく。

質問　環境教育は自治体の指針等を上手に組み合わせ、目標を立てて主体的に取り組めることが児童生徒をやる気にさせると考える。

答弁　総合的な学習の時間、各教科の授業の中で環境問題を取り上げ、環境に配慮した行動ができる児童・生徒を育成していく。

質問　市民ができるエコへの取り組み、市は何を啓発するのか。

答弁　自然環境の減少や地球温暖化といった問題など多種多様な環境対策を講じる必要性がある。

良好な環境を次世代に引き継ぐため環境問題に関する啓発を図り、市民の関心や理解を深めていく。


好評のエコ・クッキング講座

学校施設適正規模・適正配置 30～35人学級を基本として検討を

安斉　慎一郎（共産）

質問　文部科学省は8月27日、2011年度から8年間で公立小・中学校の1クラスの児童生徒数の上限を、現行の40人から30人ないし35人に引き下げる計画案を決定した。教職員も2万人増員するとのことだ。これが確定した場合、学校施設適正規模・適正配置の検討の基本条件が固まることとなり、その上での検討が求められるのではないか。

答弁　適正規模・適正配置を検討していく際に、35人、30人程度学級の実施を見通していきたい。


学校帰り

認可保育園の新設で待機児解消を 教室へのクーラー・熱中症対策を

倉根　康雄（共産）

質問　市立保育園の建てかえや改修による定員増、私立認可保育園の開園など、待機児対策について伺う。

答弁　保育園は、これまでも定員の弾力化や老朽化による建てかえ等により入所枠を拡大してきた。来年4月にはひばりが丘団地内に保育園が新設され、すみよし保育園が建てかえられる。

また、来年4月には向台町5丁目と田無町2丁目に私立認可保育園が、向台町2丁目には私立保育園の分園が開設予定だ。秋には田無町4丁目にも私立保育園の開設が予定されている。

意見　現在の保育水準を確保し、よりよい保育を望む。

質問　今夏の猛暑で小・中学校へのクーラー設置の必要性がより高まった。緊急に対応せよ。

答弁　検討課題である。

質問　低所得世帯はクーラーがない、あっても修理できない、使用時間を控えるなど、経済的理由で熱中症となる危険度が高い。安否確認のネットワークづくりや避難シェルター、クーラーの設置・補修に対する補助、電気料金の減免など、国・都とも連携した対策を。

答弁　一人暮らし高齢者や高齢者世帯などを戸別訪問し、状況把握と熱中症対策の注意を喚起した。国等への要望は検討する。


緑のカーテンによる猛暑対策

学童クラブ児童の帰宅時に交通擁護員を配置せよ

質問　交通擁護員のいない時間、本町小学校の校門につながる信号機で、横断歩道の信号が赤のとき、車が次々と走行していく間を小学3、4年生の児童が走り抜けて道路を横断する場面に出会った。私が運転する車の7、8台前のことで、児童は無事道路を横断し、すぐに見えなくなったが、改めて交通擁護員の配置が必要と思った。6月の定例会でもこの問題を取り上げたが、その後何らかの対策はとったのか。

答弁　学童クラブ児童の帰宅に際しては、指導員が信号機のある横断歩道まで交通安全指導の一環として見送りを行っている。

介護保険利用料の非課税世帯への減免制度創設を！

藤岡　智明（共産）

質問　介護保険利用料の重い負担を理由にサービスの利用を抑制している人が約8割という調査結果がある。多摩26市中12市で非課税世帯の利用料減免を実施している。当市でも利用料の軽減、減免制度創設を求める。

答弁　介護保険運営協議会でも意見をいただいており、第5期介護保険事業計画策定に向けて検討を進める。

失業者の国保料減免について

質問　失職、休廃業などで所得が激減した際の国民健康保険料減免取扱要綱に基づく保険料の減免を求める。

答弁　相談の内容によっては生活保護の案内をし、要綱に則した適正な運用を図り、無保険者を出さないようにする。

難聴者の社会参加促進を

質問　補聴器は周囲の音をすべて拾うため、コンサート、講演会などへの参加が困難だ。これを解消する磁気ループ装置の市内公共施設への設置状況と周知について伺う。

答弁　こもれびホール、コール田無等に設置。積極的に周知し利用を図る。また、建設中の（仮称）障害者福祉総合センター多目的室にも設置し、携帯型磁気ループを同センターや下保谷福祉会館（10月開館）に配置する。貸し出しも検討する。

学校図書専門員の常駐・就学援助制度の周知徹底と拡充を求める

保谷　清子（共産）

子どもたちが健やかに育つ西東京市政を

質問　平成21年4月から実施回数が14回に増えた妊婦無料健診は今年度限りだ。来年度も継続するよう国や都へ働きかけよ。継続不可能な場合は、市独自事業として検討せよ。

答弁　東京都市長会で国や都に継続の要望を行っている。市独自事業としては、財政状況を見て検討する。

質問　国民読書年の今年こそ図書専門員が毎日いる小・中学校図書室の実現が求められている。2校に1名配置されている図書専門員を1校1名の配置にせよ。

答弁　人材の育成や環境整備を図り、2校兼務の制度を維持していく。

質問　子育て世帯の貧困化が広がり、就学援助制度の拡充が求められている。板橋区では制度の周知や手続方法を工夫し、制度の充実が図られている。

答弁　板橋区の状況を調査し、参考にしていく。

質問　本市の教育計画には「小・中一貫校の検討」とあるが、既に小・中一貫校を実施している品川区、三鷹市などでは学力差が開くなどの問題が起きている。慎重な対応を望む。

答弁　「小・中一貫校先にありき」とは考えていない。慎重な姿勢で臨んでいく。

複雑化する地域課題には　市民と連携した取り組みと説明責任を！

板垣　洋子（生ネ）

質問　障害者就労支援と次期障害者基本計画について。

答弁　庁内の障害者雇用に努める。切れ目ない支援と障がいへの理解は不可欠だ。透明性を担保し適正に行えるよう検討をする。

質問　地域コミュニティ活性を推進する市の役割は。

答弁　基礎調査と市民意識調査完了後、市民等を含めた検討を考えたい。

意見　行政は市民活動の主体性を尊重し後押しせよ。

質問　災害時の飼育動物の保護について。

答弁　管理は飼い主の責任というルールのもと、関係部署と協議し周知を図る。

質問　災害時要援護者の把握から1年が経過。支援プラン作成を早急に進めよ。

答弁　モデル地域で作成を試みるなど、検討する。

質問　学校給食の食材の安全性と地場野菜を供給維持する対策を講ぜよ。

答弁　遺伝子組み換え食材は使用していない。地場野菜の供給システム構築のための研究を進める。

質問　情報センターとしての図書館について。

答弁　図書館の運営を工夫、改善し、レファレンスサービス向上を検討する。

意見　第5期介護保険事業計画策定に当たっては、一般高齢者施策も含め、情報公開と説明責任を果たせ。

一般質問（3）



待機児解消と保育の質の確保は同時進行で進めよ！

大友　かく子（生ネ）

質問　生*物多様性の視点を取り入れたまちづくりのため、指針を策定できないか。

答弁　非常に重要で意義深いもの。公園や学校施設などに視点を取り入れることは重要と考える。みずからの足元を見つめながら、他市の動向も含め調査する。

質問　新たに開設する私立認可保育園と、嘱託・臨時職員のみで保育が行われている直営の学童クラブの質をどう確保していくのか。

答弁　私立認可保育園の事業実績を事前に調査し、既に設置している自治体に問い合わせ、運営は良好と認識できている。現時点では国基準でなく西東京市の基準で運営できるよう、人員計画及び園舎計画の段階で申し入れを行っている。都の指導検査及び福祉サービス第三者評価を実施し、本市の保育水準を保てるよう努力する。

児童館職員が日々学童クラブ職員の指導に当たっている。市・都・保護者等との懇談会を持ち、意見を伺うとともに、学童クラブ職員の研修の機会を充実させることなどにより、保育の質を確保している。

◇ごみの分別・減量・資源化について　◇緑の確保と公園の整備について　◇交通安全対策の市民への周知について

高齢者の視点で人に優しい街づくりを！

中田　恵美子（公明）

質問　バス事業者等は通勤・通学を軸に運行を組んでいる。高齢者の視点で交通手段の確保を図るべきと考える。

また、柳沢から南町にかけての交通空白地域の方々からは、はなバスを通してほしいとの要望が絶えない。せめてバス停の移動はできないか。見解を問う。

答弁　外出が困難な方々へは外出支援サービスを行っている。高齢者全般への移動交通手段は、今年度ニーズ調査を予定している。その結果を踏まえ検討する。

バス停の移動は、設置当初から十分検討し決定している。理解を賜りたい。

市民税の高い延滞金に減免を！うつ病予防対策の充実を！

佐藤　公男（公明）

市民税の延滞金の減免を！

質問　リストラ等で市民税が払えず、14.6％の延滞金も払えない市民が増えている。減免等の救済措置は。

市長　納税相談の後、分割納付を勧め、状況により減免の適用を行っている。

うつ病予防対策について

質問　精神保健福祉士を配置し、うつ病予防対策の相談事業の充実を求める。

市長　うつ病予防は重要な課題である。精神保健福祉士の配置は調査、検討する。

就職情報コーナーの拡充を！

質問　西東京就職情報コーナーの利用者が増え、プライバシーが確保されていない。また、若者が利用しやすいよう拡充を求める。

市長　待ち時間が長くなっているのは事実だ。予約時間で分散する等、プライシーを確保するよう徹底する。来年2月に若者向けの就職支援事業を開催する。

文化芸術振興計画について

質問　現在策定中の文化芸術振興計画に、「西東京らしさ」をどう盛り込むのか。

市長　市民アンケート等、市民参加で地域特性を出す。

中学校部活動予算の拡充を

質問　文化芸術、スポーツの担い手である中学校の部活動にもっと予算を。

教育長　引き続き適正な予算計上を図り、部活動の活性化に取り組む。



市民の皆さんの文化活動

一般質問（4）

義務教育就学児医療費の公費負担を強く要望！

小幡　勝己（公明）

質問　義務教育就学児医療費の公費負担を強く要望する。

市長　子ども手当の地方負担があり、所得制限撤廃は、財政状況を精査し検討する。

質問　一時保育事業を拡大し、予約方法も改善せよ。

市長　ひばりが丘団地内に開設するそよかぜ保育園で実施し、ひがしふしみ保育園での実施も検討する。

予約は、公共予約システムでできるよう努める。

質問　介護施設の待機者問題を解消せよ。

市長　平成24年4月に特養と老健2カ所が開設の予定。

質問　小規模多機能型居宅介護、夜間対応型訪問介護事業の整備をせよ。

市長　10月に再公募を行う。法定外公共物（水路）がガタガタうるさいと近隣からの声がある。対策を。

市長　整備を検討する。

質問　谷戸町2丁目と泉町1丁目・2丁目・住吉町1丁目の溢水を改善せよ。

市長　複合的に溢水が発生、泉町2丁目地域の対策は実施計画を作成中。次年度以降整備に着手する。

質問　中原小学校とひばりが丘中の早期建てかえを。

教育長　課題・問題点を整理する中で、都市再生機構の土地の活用も検討する。駅ホームの事故が続く。安全確保の要請を。

質問　西武鉄道に要請する。

市長　安全確保の要請は重要と考える。みずからの足元を見つめながら、他市の動向も含め調査する。

質問　新たに開設する私立認可保育園と、嘱託・臨時職員のみで保育が行われている直営の学童クラブの質をどう確保していくのか。

答弁　私立認可保育園の事業実績を事前に調査し、既に設置している自治体に問い合わせ、運営は良好と認識できている。現時点では国基準でなく西東京市の基準で運営できるよう、人員計画及び園舎計画の段階で申し入れを行っている。都の指導検査及び福祉サービス第三者評価を実施し、本市の保育水準を保てるよう努力する。

児童館職員が日々学童クラブ職員の指導に当たっている。市・都・保護者等との懇談会を持ち、意見を伺うとともに、学童クラブ職員の研修の機会を充実させることなどにより、保育の質を確保している。

◇ごみの分別・減量・資源化について　◇緑の確保と公園の整備について　◇交通安全対策の市民への周知について

教育長よ！職命を賭して小・中学校にクーラーの設置を！

新井　五郎（公明）

質問　公明党は、クーラーの設置を、市財政を勘案して計画的に進めるべきと訴えてまいりました。ところが、今年の夏のように異常な暑さになると子供たちが悲惨です。西東京市が誕生したときに行われた子ども議会でも、クーラーをつけてくださいという要望が多かったことを覚えています。9月6日付の新聞記事を読みましたら、文科省の基準では、学習に集中できるのは25度から28度だそうで、23区は冷房化率が95％です。今年も、光化学スモッグが発生して、9月1日にも窓を閉め切って授業を行うということもありました。聞くところによると教室の温度は40度に達しているとのことです。それを40分とか50分の授業時間中窓を閉め切ったら、子供たちはぐあいが悪くなってしまいます。給食でも、今日はカレーだ、今日は揚げパンだと、学校に来る子供たちは単純なことでも楽しみにします。それが、今日も気持ち悪くなる40度の教室で勉強だと思ったら楽しみに学校へは来ません。教育長は子供たちの立場で、教育的見地・人道的見地からクーラーの設置に踏み切るべきと強く要求します。

教育長　市財政を勘案の上、検討してまいります。

市にシンボルを造るチャンス！調布保谷線を桜並木にし道の駅を

岩越　笙子（公明）

行政窓口での電子マネーの活用について

質問　現金取扱窓口で電車等のICカード支払いを可能にし利便性を向上した。

答弁　現金取扱窓口は15課ある。今後調査研究していく。公共施設利用は指定管理者の次期指定の研究項目の一つとしていく。

ボランティアのポイント制の導入について

質問　旧保谷市において社協で実施していたが、ポイント管理等の問題で続かなかったと聞いている。住基カードの利用でポイント管理は可能ではないか。

答弁　調査研究していく。

保育マネ認定研修について

質問　市は都の認定研修制度を導入して保育ママの拡充を図れ。公共・民間施設を活用し共同実施型家庭的保育モデル事業（保育ママ）を展開し待機児の解消を！

答弁　研修に6人の応募があった。

保育ママ認定研修について

質問　市は都の認定研修制度を導入して保育ママの拡充を図れ。公共・民間施設を活用し共同実施型家庭的保育モデル事業（保育ママ）を展開し待機児の解消を！

答弁　研修に6人の応募があった。

中高生待望の下保谷児童センター福祉会館が10月に新装オープン！

佐々木　順一（公明）

下保谷児童館・福祉会館

質問　下保谷児童館・福祉会館がオープンする。①児童館の運営形態は子供たちを含めた協議方式にせよ。②福祉会館のグレードアップ事業の概要を示せ。

市長　①子どもたちの意見を反映していく。②介護予防の機能訓練室や、平日の夜間・休日には地域の交流施設として活用する。

通学路の安全確保について

質問　住吉小学校の通学路に指定された道路に、朝夕通過車両が多く進入する。通学区域の安全確保を図れ。

教育長　通学路の安全確保に向けて取り組む。

中学校給食の着実な実施を

質問　本年度3校、来年度6校の給食事業インフラ整備を着実に実施せよ。

教育長　整備事業の計画的な管理・執行が必要である。

答弁　沿道の方々の意見を参考にし、都とも連携しながら研究していく。

市民税の延滞金の減免を！うつ病予防対策の充実を！

佐藤　公男（公明）

市民税の延滞金の減免を！

質問　リストラ等で市民税が払えず、14.6％の延滞金も払えない市民が増えている。減免等の救済措置は。

市長　納税相談の後、分割納付を勧め、状況により減免の適用を行っている。

うつ病予防対策について

質問　精神保健福祉士を配置し、うつ病予防対策の相談事業の充実を求める。

市長　うつ病予防は重要な課題である。精神保健福祉士の配置は調査、検討する。

就職情報コーナーの拡充を！

質問　西東京就職情報コーナーの利用者が増え、プライバシーが確保されていない。また、若者が利用しやすいよう拡充を求める。

市長　待ち時間が長くなっているのは事実だ。予約時間で分散する等、プライシーを確保するよう徹底する。来年2月に若者向けの就職支援事業を開催する。

文化芸術振興計画について

質問　現在策定中の文化芸術振興計画に、「西東京らしさ」をどう盛り込むのか。

市長　市民アンケート等、市民参加で地域特性を出す。

中学校部活動予算の拡充を

質問　文化芸術、スポーツの担い手である中学校の部活動にもっと予算を。

教育長　引き続き適正な予算計上を図り、部活動の活性化に取り組む。

高齢者の所在不明、児童虐待など地域コミュニティ衰退について

田中　のりあき（自民）

質問　このような問題に対しては、地域コミュニティの協力が必要だが、個人情報保護法が地域コミュニティ衰退の一因ではないか。

答弁　地域コミュニティの支援では、個人情報保護が課題の一つである。

質問　個人情報の共有と活用を弾力的に運用できるガイドラインを制定し、地域コミュニティの再生に寄与すべきではないか。

答弁　行政執行上、個人情報のあり方に様々な課題があるのも事実である。今後も個人情報保護審議会の意見を聞き、対応していく。

質問　ひばりヶ丘駅北口のまちづくりでは、街並み形成に貢献した私道を、市道とすべきではないか。

答弁　条件を満たす私道は市道として管理をしていく。



今こそ重要な3次行革への取り組み市はもっと積極的な情報提供を！

稲垣　裕二（自民）

第3次行革について

質問　収支見通しと効果額。

市長　財政計画の策定の中で行革を実施しなかった場合と比較し、削減が必要な額を算出し短期目標とした。

質問　施策評価制度の効果的運用とは。

市長　優先順位をつけ、効率的な予算配分を図る。

（財）文化スポーツ振興財団

質問　現在の財団の状況は。

市長　平成18年度に発生した事故の裁判が和解し、清算に向け調整している。

部長　裁判は、3月に和解した。

意見　3月に和解したのであれば、議会に対して速やかに報告すべきだ。

通学路について

質問　調布保谷線上には約20の通学路がある。供用開始の際、通学路・スクールゾーンはどうするのか。

教育長　学校、保護者とも連携しながら検討していく。

東伏見周辺地区について

質問　①（仮）市民サービスプラザ設置事業②総合型地域スポーツクラブ③武蔵関第5号踏切拡幅事業④早大グラウンド通りについて。

市長　①来年7月開設に向け作業を進める②準備委員会に対し継続して支援する③平成22年度に信号工事、23年度に踏切内及び市道の改修工事を行う④今年度現道を改良し歩道整備を行う。

答弁　地域コミュニティの支援では、個人情報保護が課題の一つである。個人情報の共有と活用を弾力的に運用できるガイドラインを制定し、地域コミュニティの再生に寄与すべきではないか。

答弁　行政執行上、個人情報のあり方に様々な課題があるのも事実である。今後も個人情報保護審議会の意見を聞き、対応していく。

質問　ひばりヶ丘駅北口のまちづくりでは、街並み形成に貢献した私道を、市道とすべきではないか。

答弁　条件を満たす私道は市道として管理をしていく。

市内全保育園の質的向上を！少年の自然体験をさらに充実させよ

海老沢　進（自民）

市内全保育園の質の確保について

質問　乳幼児が母親と離れ、8時間以上生活する保育園は、市内どの保育園でも一定の水準を保つべきだが。

答弁　公立と民間の園長との懇談会で共通課題を話し合っている。また、プールや園庭の利用協力、保育士研修等で全体の質の確保に努めたい。

市所有の文化財の市内展示について

質問　市の文化財は市全域に散在している。新しい市民にも広く知らせる方策は。

答弁　広報「西東京の教育」で文化財の紹介をしている。今後も公共施設等での展示会などを行う。また市の誕生10周年記念にあわせた展示会も計画している。

菅平少年自然の家廃止と青少年の自然体験について

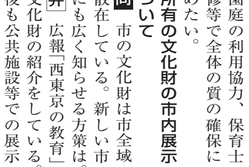
質問　菅平少年自然の家は平成23年度に廃止だが、代替の自然体験の施策は。

答弁　24年度以降の小学校移動教室は、庁内関係部署と学校長で検討している。

全国学力テスト参加の意義について

質問　今年は抽出及び希望校方式だったが、参加の意義は。

答弁　指導法の課題把握、授業改善等に活用し、学力向上を図っていく。



文化財の展示の様子

調布保谷線の沿道のまちづくりについて

質問　沿道の植栽は今後のまちづくりを決定づける重要事業である。再度、桜並木にして道の駅をつくり、にぎわいのあるまちづくりを提案する。

答弁　沿道の方々の意見を参考にし、都とも連携しながら研究していく。

緑（屋敷林）の保全の充実を私道整備の一部負担を撤回せよ

鈴木　久幸（自民）

質問　都市基盤整備の基本は道路である。市民が道路のセットバック等で私有地を寄附するとき、市の方で道路の管理図面等の作成を行うよう何度も言ってきた。その後の考え方はどうか。

答弁　道路整備の重要性は認識している。必要なところには市が費用を負担して行っている。

質問　私道の整備と今後のあり方であるが、市は私道を整備する際の費用の一部を市民に負担を求めるとしているが、どういうことか。

答弁　受益者負担の観点から、私道補修工事費用の一部負担を検討していく。

意見　頻繁に車が通る私道は準公道として位置づけ、市が無償で積極的に維持管理に努めよ。

質問　屋敷林や保存樹林は身近にある「緑」として大切にしていく必要がある。市は今後の保全をどのように考えるか。

答弁　保存樹林の指定や生け垣助成等の補助制度も活用している。今後も所有者の理解を得て保全に努める。

意見　屋敷林は「先祖から受け継いだもの」という気持ちによって残されている。手を打たなければ相続等でなくなってしまうのが現実である。市が積極的な姿勢で対応しなければ、大切な風土の一部がなくなる。

地域活動・奉仕活動現場の民意を議会と行政に提言。そして反映を

大塚　光男（自民）

東大農場処分予定地に公共機関の誘致を目指して

質問　キャンパス整備と周辺地域も含めた地区計画の策定と処分予定地に公共施設誘致に向けた、東京大学と東京都との取り組みについての具体的な内容を伺う。

答弁　市民生活と共存できるような地区計画を、また処分予定地については、公共的な活用を図ることを要請。昨年度、田無警察署と衛生面での環境整備について情報交換を行っているという報告を受けている。

今後とも引き続き努力する。

意見　田無警察署や、免許更新センター、警察の機動隊等、公的機関の誘致に向けた取り組みを！

エアコン設置・小中学校に

質問　記録的な猛暑続きで熱中症患者が続出した。子どもたちの学習効果向上と衛生面での環境整備について、エアコン設置については、財政を勘案し検討する。

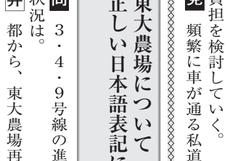
意見　次世代を担う子どもたちを犠牲者にしないで！

文化芸術振興計画の策定を

質問　本年4月から条例を施行した。市の役割と、市民活動団体に対する育成・支援策等について質問する。

答弁　振興推進委員会で年度内に計画素案を、市民アンケートや活動団体の実態等を踏まえて検討していく。

意見　策定に向けて、今後とも、各取り組みを！



平成23年1月から貸出開始の下保谷児童センターのスタジオ

東大農場について正しい日本語表記について

小林　たつや（自民）

質問　3・4・9号線の進捗状況は。

答弁　都から、東大農場再編スケジュールと整合を図って進めると聞いている。

質問　自然保護の観点から行政のできることは。

答弁　地区計画を定め、自然環境と住宅地が調和したまちづくりを進める。

質問　東大農場の景観を残せないか。いこいの森公園から東大農場へつながる通路を整備できないか。

答弁　伐採予定のポプラ並木が再生できるか考えていきたい。通路確保は難しい。

意見　3・4・9号線への動物用の地下道の設置、東大農場の景観の再生、いこいの森公園と東大農場間の通路の整備を強く要望する。

質問　「子ども」、「障がい者」などのまぜ書きやわりにくいカタカナ表記について、どのように考えるか。

答弁　行政文書は、市公文規程により作成しているが、個別の表記や特別の目的がある場合は例外もある。

意見　教育現場も含め、正しい日本語表記を進めてほしい。またカタカナ言葉等は必要最小限にし、注釈をつけるなど、わかりやすい表記を心がけるべきである。

一般質問（5）、決算・補正予算の審査結果です

やさしさとふれあいのまちは、ご近所づき合いから

遠藤　源太郎（自民）

質問　ＩＨＩ跡地西側の一方通行道路は危険だ。拡幅し、歩道を設置せよ。

答弁　鋭意努力する。

質問　同跡地は高層建物が次々と建ち、風害が大きな問題となっている。対策は。

答弁　植栽で対応する。

質問　跡地周辺道路の市民要望に1年も対応がない。

答弁　警察が管轄する部分については改めて要望する。

質問　この夏、高齢者の所在不明や痛ましい事件が発覚した。住民不在の住居が多くなってきているが。

答弁　住民不在の住宅の把握については、確認できていない。コミュニティのあり方の中で検討したい。

質問　高齢者の見守りでは町内会の果たす役割は大きい。行政として育成せよ。

答弁　実態調査を行う。

質問　定年を迎えた団塊の世代に「地域デビュー」を。

答弁　地域活動への積極的な参加を期待する。

質問　田無駅南口広場の実現について。

答弁　市民の期待の高まりを強く感じる。お知恵やアドバイスをいただきたい。

質問　市内にある生活用水の跡を史跡として保存せよ。

答弁　他市を参考にする。

質問　今夏の猛暑を教訓とし学校にエアコンの設置を。

答弁　財政状況を勘案して検討する。


IHI跡地に建てられたマンション

西東京マルシェ構想で活力増進！中原小学校の迅速な建替計画を！

納田　さおり（無所属）

質問　東大農場と都市農業を連携させ、ヨーロッパのマルシェ（市場）風の直売施設を設置することで、田無駅北部地域の面的活性化を狙える。強い財政基盤を持つまちづくりの戦略的な取り組みとして提案したい。

答弁　都市と農業が共生するまちづくり実施計画等と整合性を図りながら、東大等と丁寧な調整を行う。

質問　既存の介護施設を有効活用した宿泊デイサービスは、利用者のニーズに的確にこたえる事業である。

答弁　国も都も高く評価している事業だ。市も継続を検討したい。

質問　ＩＨＩ跡地の大型マンションの入居が11月に始まるが、向台小・田無四中の受け入れ態勢は大丈夫か。

答弁　向台小へは100人程度、田無四中へは30人程度の児童、生徒が通うと見込まれている。既存の教室で受け入れが可能である。

質問　中原小学校で老朽化による停電・雨漏りなどが頻発し、教育環境の低下が心配される。早急な建てかえが必要であるが、ひばりが丘団地の用地活用を視野に入れ、ひばりが丘中も含めた一体的な検討を早急に行う必要がある。

答弁　今年度中にひばりが丘団地の用地活用も含め問題・課題を整理する。


中原小学校

出張旅費は実費精算にせよ！ケースワーカーを増員せよ

森　てるお（無所属）

質問　出張旅費の明細、支給方法、市長の考えは。

答弁　宿泊料は26市並みの1万4千円を支給している。国・都の動向で対応したい。

質問　民間は領収書による実費精算だ。

答弁　旅費の内訳は、宿泊料のほか交通費と日当、場合によって食事料がある。実際に払った額と著しく違う場合は調整している。

意見　調整ではなく、領収書により精算を行うと、条例を変えるべきだ。

質問　生活保護のケースワーカー1人の受け持ちが160世帯から110世帯に改善された。その後増えているが、市長の認識を問う。

答弁　職員は18名、1人当たり118世帯だ。新規申請が多く、受給者への訪問が手薄になっている。チームで適切な実施を図る。

質問　法律上は80世帯に1人だ。それでもきつい。無理をすれば職員がつぶれる。どうするのか。また、職員の在任年数、査察指導員の人数と経験年数は。

答弁　経験年数は平均で1年7ヵ月。査察指導員2人の平均経験年数は4年だ。

質問　着任してすぐできる軽い仕事なのか。新人に法律の1.5倍の担当はむちゃだ。早急に改善せよ。

答弁　定数管理部門に要望、実情を伝えて協議する。



用語の解説

＊ピロリ菌
胃に住みつく細菌で、胃の粘膜を傷つける。胃炎、胃潰瘍、胃がんなどの原因の一つの可能性があるとして研究が進められている。

＊ペプシノゲン
胃でつくられる消化酵素（ペプシン）の前駆物質で、血液中のペプシノゲン濃度を測ることにより胃がん発生のリスクを推定することができる。

＊磁気ループ
音声をマイクから直接補聴器に送り込むための機械。会議やコンサートなど、多くの人が集まり、雑音の多い場所で使われる。音全体を大きくする補聴器と比べ、クリアな音声を聴くことができる。

＊生物多様性
あらゆる種類の生物が、バランスを取りながら、様々な形でつながって生態系を形成していること。

＊小規模多機能型居宅介護
「通い」を中心として、要介護者の心身状態や希望に応じて、「訪問」や「泊まり」を組み合わせて提供するサービスのこと。

＊査察指導員
福祉事務所に置かれる職員で、ケースワーカーに対し、指導、助言などを行う。



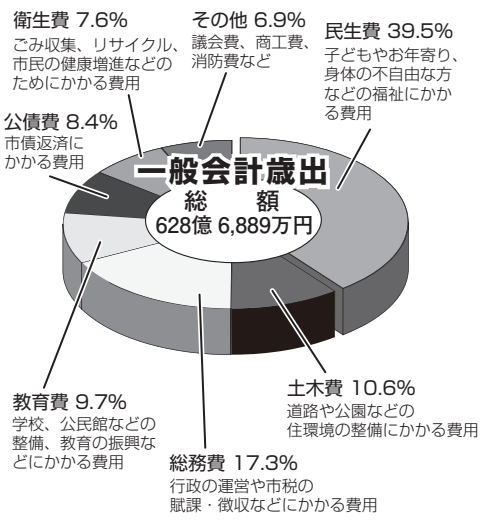
決算・補正予算の審査結果です

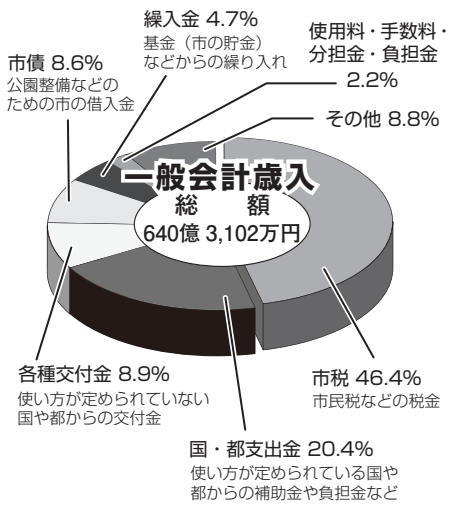
平成21年度決算と平成22年度補正予算の主な審査結果をお知らせいたします。
決算特別委員会　9月27日～10月1日　　予算特別委員会　9月14日～9月15日

＜平成21年度各会計決算の概要＞

（単位　円）

会計名		収入済額	支出済額	収入支出差引額
一般会計		640億3,102万4,284	628億6,889万9,273	11億6,212万5,011
特別会計	国民健康保険	173億3,098万0,726	171億8,360万0,887	1億4,737万9,839
	下水道事業	62億2,889万4,401	62億1,528万0,487	1,361万3,914
	中小企業従業員退職金等共済事業	1億8,730万6,258	1億0,902万7,966	7,827万8,292
	老人保健（医療）	4,091万8,731	3,614万7,367	477万1,364
	駐車場事業	1億7,166万4,947	1億6,657万8,655	508万6,292
	介護保険	97億5,600万8,042	97億3,097万3,340	2,503万4,702
	保谷駅南口地区第一種市街地再開発事業	23億0,699万2,128	21億0,368万6,317	2億0,330万5,811
	後期高齢者医療	30億1,230万9,808	29億2,726万7,892	8,504万1,916
	小計	390億3,507万5,041	384億7,256万2,911	5億6,251万2,130
合計		1,030億6,609万9,325	1,013億4,146万2,184	17億2,463万7,141





委員会の審査から、議会運営委員会視察レポート、決算・補正予算の審査結果です

委員会の審査から

議案や皆さんから提出された請願・陳情は、原則として所管の常任委員会等で審査を行います。ここでは、第3回定例会で議決された主な議案等の審査の概要をお知らせします。

企画総務委員会

「西東京市が行う各契約の随意契約を廃止することを求める陳情」

【趣旨】随意契約及び見積り合わせという契約方法は、全国的に見直しが行われているため、当市においても見直しし、廃止することを求める。

【主な質疑等】

問　随意契約でなくては契約が成り立たない案件も多々あるのではないか。

答　随意契約は、法律、政令で定める場合にのみできることになっている。緊急な事案で、競争入札に付する時間的な余裕がないとき、競争入札をした結果落札者がない場合等、事務の遂行上随意契約をしなければならない場合が多々ある。

問　随意契約は無駄遣いと決めつけられているがどうか。

答　無駄遣いというような認識はない。入札をするよりも有利になる場合もある。

【結果】挙手なしで不採択

文教厚生委員会

「スポーツ施設条例の一部を改正する条例」「スポーツ・運動施設の指定管理者の指定の変更について」

【趣旨】ひばりが丘団地建てかえ事業に関する都市再生機構と市との基本協定に基づき、これまで同機構が管理を行っていた野球場・テニスコートが同機構による整備後、市に移管されることに伴い、市のスポーツ施設として「ひばりが丘運動場」を「ひばりが丘総合運動場」と改め、関係規定を整備するものである。

また、指定管理者の指定の変更については、同野球場・テニスコートの管理運営を西東京市スポーツ・運動施設の指定管理者に指定するものである。

【主な質疑等】

問　野球場の北側と東側が1.8メートルのフェンスになっており、広さから考えると球がフェンスを乗り越える可能性があるのではないか。

答　基本的に軟式野球という形での使用となるが、フェンスに合わせて周辺が3メートルから20メートルの高木約250本以上で囲まれていて、それが緩衝帯の役割を果たしている。今までこの野球場の中で事故等なかったと聞いている。

なお、機構による整備の中で、20メートルのフェンスの設置を要望したが現状のものを修繕、あるいは撤去・新設をした中で引き渡すということで最終的に合意した。

問　自転車駐輪スペースの問題が懸念される。

答　北側の道路の拡幅に伴って、今まで自転車を止めていたスペースがなくなる。2期工事として駐車場とエントランス広場を整備する中で駐輪スペース取り込んでいく調整を行っている。

結果　賛成全員で可決

建設環境委員会

「AED（自動対外式除細動器）に関する陳情」

【説明】平成22年6月現在、市の公共施設には、AED（自動対外式除細動器）が74カ所、その他消防団のポンプ車12台に設置している。今後、保育園、児童館、地区会館を中心に平成23年度から3か年で、順次34台を設置していく予定である。

陳情は、24時間営業の民間施設への設置を求める趣旨と考えられ、その対象は、ガソリンスタンドやコンビニエンスストア等が想定される。これら事業者については、来客に対する安全確保という観点や維持管理にかかるコスト等の面から事業者の責任により設置されることが望ましい。

【主な質疑等】

問　保育園や児童館、地区会館のすべての公共施設を設置の対象予定としていないのはなぜか。


AED

答　複合施設で他の施設にAEDが設置されている場合のほか、施設の利用状況や近隣施設等の導入状況から判断することとなる。

問　公共施設に設置されたAEDを実際に使用したことはあるのか。

また、市内民間施設等における設置状況は把握しているか。

答　使用するようなケースは現在のところ発生していない。

民間施設等における設置状況については、順次把握に努めている。

問　市内の交番にはAEDが設置されているのか。

答　田無警察署には設置されているが、交番には、現在設置はされていない。

【結果】賛成全員で採択

駅周辺再開発等特別委員会

「保谷駅南口地区第一種市街地再開発事業特別会計補正予算（第1号）」について

【説明】歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ640万2千円を追加し、歳入歳出それぞれ20億1千883万7千円とするものである。

・主な歳入　前年度繰越金を増額する。

・主な歳出　Ⅱ街区ビル消防設備仮設置について、Ⅱ街区管理組合と協議が調い、市の発注から同組合発注となり、市がその費用を補てんすることになったため、工事請負費から補償補填及び賠償金に振り替えるもの。

【主な質疑等】

問　工事請負費ならば、市が入札して差額が出ることもあるが、管理組合が発注の場合、この金額でやるということになるのか。

答　この金額は見積額で、上限として計上している。

【結果】挙手全員で可決



議会運営委員会視察レポート

日程・視察先
10月19日　福岡県行橋市
10月20日・21日　大分県大分市
参加委員数　12人
報告者　議会運営委員長　稲垣　裕二

福岡県行橋市

「政治倫理条例」について

現在、本委員会においては「市議会の政治倫理」に関し協議を行っているところである。


政治倫理についての視察（行橋市）

今回は、市議会議員や市長等の政治倫理を条例化している行橋市を視察した。この条例は、議員や市長の責務や政治倫理に関する基準のほか、資産公開等を規定し、その政治倫理確立のため審査会を設置している。条例を運用していく中での課題等として、「資産報告すべき範囲の明確化」や、その公開の方法等に改善の余地があるとのことであった。

大分県大分市

大分市で開催された第5回全国市議会議長会研究フォーラムに参加し、議員の定数や報酬、政治倫理条例や議会の調査権について討議があった。

平成21年度決算

◆一般会計

【主な質疑項目】

・個人市民税の公的年金特別徴収・寄附金控除改正の影響
・不納欠損の判断、市税減免と軽減額の取り扱い
・予算の進行管理と不用額、執行率60％以下の事業
・緊急雇用創出の執行率の低さ
・指定管理者民間委託の情報公開、監査制度
・生活保護世帯増大による市財政への影響
・保育園の嘱託員と正職員との職務の違い等
・地球温暖化太陽光パネル設置の効果及び地球温暖化防止対策助成金の執行実態
・定額給付金の国庫負担と当市の持ち出し
・農業・農地を活かしたまちづくりと相続関係
・商店街等地域活性化補助金の不用額と柔軟な使い方
・3・4・21号線事業の53.5％の執行率の評価、合併特例債事業との関係
・はなバス運行見直しにおける市民意見分析
・公園遊具保守点検管理システム導入委託
・防災Q&A映像情報システムの費用対効果
・教育用コンピュータ機器リースとシンクライアントシステムの導入
・地デジ放送対応設備整備事業に係る業者選定の仕方と市内業者育成
・学校の適正規模・適正配置の検討と結果
・予算流用のルール・手続及び予備費充用と補正予算組み替えの関係

【結果】賛成多数で認定

◆国民健康保険特別会計
◆下水道事業特別会計
◆中小企業従業員退職金等共済事業特別会計
◆老人保健（医療）特別会計
◆駐車場事業特別会計
◆介護保険特別会計
◆保谷駅南口第一種市街地再開発事業特別会計

【結果】以上賛成全員で認定

◆後期高齢者医療特別会計

【結果】賛成多数で認定

平成22年度補正予算

◆一般会計

【説明】歳入歳出予算の総額に、それぞれ17億7千756万1千円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ694億7千356万1千円とするもの。

【主な質疑項目】

・民間保育所整備補助金
・家庭ごみ収集手数料減収による総合計画財政フレームへの影響
・生活保護世帯増による市税滞納分の不納欠損増について
・子ども手当の特例交付金減額の内訳と市の負担
・心身障害者施設の新体系への移行補助金

【結果】賛成全員で可決

◆国民健康保険特別会計
◆下水道事業特別会計
◆中小企業従業員退職金等共済事業特別会計
◆老人保健（医療）特別会計
◆駐車場事業特別会計
◆介護保険特別会計
◆保谷駅南口第一種市街地再開発事業特別会計

【結果】以上賛成全員で可決

◆後期高齢者医療特別会計

【結果】賛成多数で可決



西東京市 議会だより

議決結果（議案・請願・陳情）、意見書、会議の開催状況等

第３回定例会　議案の議決結果一覧

○賛成　×反対　－退席

件名 ＼ 会派（ ）は所属議員数	西東京自由民主党（8）	西東京市議会公明党（6）	民主党・社民クラブ（6）	日本共産党西東京市議団（4）	生活者ネットワーク（2）	無所属・市民の目（1）	無所属・市民派無所属（1）	無所属・市民会議（1）	結果
決算 ・一般会計	○	※1 ○	○	○	○	×	○	○	認定
決算 ・国民健康保険特別会計 ・下水道事業特別会計 ・中小企業従業員退職金等共済事業特別会計 ・老人保健（医療）特別会計 ・駐車場事業特別会計 ・介護保険特別会計 ・保谷駅南口地区第一種市街地再開発事業特別会計	○	※1 ○	○	○	○	○	○	○	
決算 ・後期高齢者医療特別会計	○	※1 ○	○	○	○	×	○	○	
補正予算 ・一般会計 ・国民健康保険特別会計 ・下水道事業特別会計 ・中小企業従業員退職金等共済事業特別会計 ・老人保健（医療）特別会計 ・駐車場事業特別会計 ・介護保険特別会計 ・保谷駅南口地区第一種市街地再開発事業特別会計	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
補正予算 ・後期高齢者医療特別会計	○	○	○	○	○	×	○	○	
条例改正 ・スポーツ施設条例	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
その他 ・スポーツ・運動施設の指定管理者の指定の変更について	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
その他 ・東京都市収益事業組合歳入歳出決算	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
議員提出議案 ・食料の自給力向上と、食の安全・安心の回復に向けて、食品表示制度の抜本改正を求める意見書 ・東京都住宅供給公社の家賃値上げに反対する意見書 ・ＵＲ賃貸住宅を公共住宅として継続・発展させることを求める意見書 ・就学援助制度の国庫補助の復活と拡充を求める意見書 ・公立小中学校に冷房機設置の推進を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議員提出議案 ・地方財政の充実を求める意見書	○	○	×	×	○	×	○	○	
議員提出議案 ・容器包装リサイクル法を改正し、発生抑制と再使用を促進するための法律の制定を求める意見書	×	×	×	○	○	○	○	○	否決
議員提出議案 ・尖閣諸島沖における中国漁船衝突事件に関する意見書	○	○	○	○	○	×	○	○	可決

※１は一部退席

請願・陳情の結果（　）は付託委員会

採択されたもの

○食料の自給力向上と、食の安全・安心の回復に向けて、食品表示制度の抜本改正について国への意見書提出を求める請願（文教厚生）

○タクシー券利用に関する請願（文教厚生）

○西東京市在住の私立小中学校就学者に対する教育費助成についての陳情（文教厚生）

○ＡＥＤ（自動体外式除細動器）に関する陳情（建設環境）

○田無駅南口側から東方向にある都道12号線の道幅を広げるもしくは歩道の整備を東京都に要望することを求める陳情〈趣旨採択〉（建設環境）

不採択となったもの

○西東京市各課において正規職員を適正人数に再分配することを求める陳情（企画総務）

○西東京市が行う各契約につき契約手続事務事項の改善を求める陳情（企画総務）

○西東京市が行う各契約の随意契約を廃止することを求める陳情（企画総務）

○特別職の報酬・給与の引き下げに関する陳情（企画総務）

○市議会議員の期末手当20％加算カットを求める陳情（企画総務）

○西東京市情報公開条例第21条に関する陳情（企画総務）

○市議会に民意を的確に反映させるため、条例を改正して、議員報酬を10％引き下げ、かつ議員定数を増加させて32名とすることを求める陳情（企画総務）

○西東京市廃棄物の処理及び再利用に関する条例の一部改正を求める陳情（建設環境）

○西東京市が定める避難所の安全性を再度調査し公表することを求める陳情（建設環境）

○いこいの森公園の噴水に関する陳情（建設環境）

○ＣＯ２の25％削減の国際公約実現に協力するため、太陽光発電装置の設置を普及・促進するための条例制定を求める陳情（建設環境）

○市内で石神井川が流水していない部分のたまり水を水質調査することを求める陳情（建設環境）

○市内における鳥獣対策を行うことを求める陳情（建設環境）

○市内活性化のために市内にある企業と共同して事業を行うことを求める陳情（建設環境）

○西東京市の自転車等の駐輪行政の改善を求める陳情（建設環境）

○土・日曜日に西東京市議会の開催を要望する陳情（議会運営）

継続審査となったもの

○市の木・市の花の指定を見直すことを求める陳情（企画総務）

○「市長への手紙」の名称変更もしくは運用の改善を求める陳情（企画総務）

○西東京市における広報制度の改善を求める陳情（企画総務）

○西東京市における情報公開制度の改善を求める陳情（企画総務）

○「西東京市子ども権利条例」の再考を求める陳情（文教厚生）

○「西東京市子どもの権利に関する条例」の制定を求める陳情（文教厚生）

○市内の公立保育園で自家用車による送り迎えを原則禁止することを求める陳情（文教厚生）

取り下げ

○医療廃棄物、感染性医療廃棄物の集積場設置に反対する陳情（建設環境）

今定例会で可決した意見書

■食料の自給力向上と、食の安全・安心の回復に向けて、食品表示制度の抜本改正を求める意見書
【提出先】内閣総理大臣、厚生労働大臣、農林水産大臣、内閣府特命担当大臣（消費者及び食品安全担当）

■地方財政の充実を求める意見書
【提出先】衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣、国家戦略担当大臣、内閣官房長官

■東京都住宅供給公社の家賃値上げに反対する意見書
【提出先】東京都知事、東京都住宅供給公社理事長

■ＵＲ賃貸住宅を公共住宅として継続・発展させることを求める意見書
【提出先】内閣総理大臣、国土交通大臣

■就学援助制度の国庫補助の復活と拡充を求める意見書
【提出先】内閣総理大臣、文部科学大臣

■公立小中学校に冷房機設置の推進を求める意見書
【提出先】東京都知事

■尖閣諸島沖における中国漁船衝突事件に関する意見書
【提出先】衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、外務大臣、法務大臣、国土交通大臣、内閣官房長官

会議の開催状況（平成22年8月～10月）

8月
31日　議会運営委員会

9月
3日　**第３回定例会**・本会議（議案等上程～議決、付託）、予算特別委員会、議会報編集委員会
6日　本会議（一般質問）
7日　本会議（一般質問）
8日　本会議（一般質問）
9日　本会議（一般質問、議案等上程～付託）、議会運営委員会
10日　企画総務委員会、建設環境委員会
13日　文教厚生委員会
14日　予算特別委員会
15日　予算特別委員会、決算特別委員会
16日　駅周辺再開発等特別委員会
17日　議会運営委員会、会派代表者会議
24日　本会議（委員会審査報告、議員提出議案等上程～議決）、議会運営委員会、企画総務委員会
27日　決算特別委員会
28日　決算特別委員会
29日　決算特別委員会
30日　決算特別委員会

10月
1日　決算特別委員会
5日　本会議（委員会審査報告、議員提出議案等上程～議決、付託）、議会運営委員会

編集後記

この市議会だより第44号がお手元に届くころ、私達は現任期最後の定例会をむかえています。身近な地域の生活の課題を議論する場が市議会です。傍聴に足を運べない多くの皆さまにも議会の様子が少しでも伝わるよう、読みやすく、読みたくなる紙面を目指し、活発に意見交換しながら編集にあたってきました。

12月26日深夜には、新たな市議会議員28人が市民の皆さまの手によって選ばれます。

今年3月から市議会（本会議）のインターネット中継が開始されました。今後、市議会だよりが担うべき役割も変わっていくことが予想されます。これからも皆さまからのご意見・ご提案をお待ちしております。（O）

お問い合わせ
議会だよりについて　議会事務局庶務調査係　☎042-460-9860
傍聴等について　議会事務局議事係　☎042-460-9861
市議会ホームページ
http://www.city.nishitokyo.lg.jp/sigikai/index.html

R70 古紙配合率70% 再生紙を使用